

平成16年（行ウ）第47号 公金支出差止等請求住民訴訟事件

調査嘱託申立書

2008（平成20）年9月3日

さいたま地方裁判所 第4民事部合議係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士	佐々木	新一
同	南雲	芳夫
同	野本	夏生
同	小林	哲彦

ほか

記

1 調査嘱託先

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省

電話 03-5253-8111（代表）

【担当課】

〒330-9724

さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館

国土交通省 関東地方整備局 河川部河川計画課

電話 048-601-3151（内線3619）

2, 調査事項

別紙のとおり。

3, 立証の趣旨

最近20年間で第二位の渇水年(2/20渇水)、利水安全度1/10とした場合の上流ダム群等からの供給可能量について、利根川水系においては開発水量の79%、荒川水系においては開発水量の72%となるとする国土交通省の説明には合理的な根拠はなく、実際の供給可能量は、それよりも大きな値となることを明らかにする。

4, 本嘱託の必要性について

(1) 原告嶋津は、「最近20年間で第二位の渇水年(2/20渇水)、利水安全度1/10では、ダム等からの供給可能量が利根川水系では開発水量の79%、荒川水系では72%になる」との国土交通省の説明が果たしてどのような計算によるものであるのか、科学的な根拠を有するものであるのかを検証するため、国土交通省に対し、二度にわたり計算根拠を示す資料の開示を求める情報公開請求を行っている。

① 初回請求は、平成19年12月22日付けで行ったものであるが、国土交通省は、同省河川局から水資源部への回答文書を開示したのみで、そこには計算方法等は何も記載されていなかった(添付資料1を参照)。

② 平成20年6月13日付けで行った2回目の請求について、開示請求を受けた国土交通省は、該当資料は本省では持ち合わせていないとしてこの開示請求を7月4日付で関東地方整備局に移送し、その後、8月4日に至って添付資料2を開示したが、開示された資料の内容は、グラフ作成時に用いるダム貯水量・不足量、開発水量などの数値を打ち込んだ表に過ぎず、原告嶋津が求めた供給可能量の計算根拠を示すものではなかった(添付資料2を参照)。

(2) 国土交通省は、「供給可能量を開発水量と同量に設定してダムからの補給(＝

放流)を続けると、ダム貯水量が「0」となり、栗橋地点の流量不足が生じる時期が生ずるが、供給可能量を開発水量の79%にまで落とすと、ダム貯水量が『0』となることなく、栗橋地点の流量に不足が生じることはほとんどない」という趣旨の説明をし、被告はこの国土交通省の説明を無批判に受け入れているようであるが、安定供給可能量が真に国土交通省の説明するとおりであるかは、計算方法・計算根拠が示されていない以上、検証不能と言わざるをえない。

仮に国土交通省の説明に誤りがあり、ダム等からの供給可能量がより大きな値となる場合には、栗橋地点の流量不足は生じない可能性があり、利水安全度1/10への対応の必要性を根拠とする被告の新たな水供給計画の内容の合理性にも影響を及ぼすことになる。

よって、本申立を行うものである。

以上

添付資料1 行政文書開示決定通知書(国広情第490号)

同2 行政文書開示決定通知書(国関整総情第204号-1)

別紙 調査事項

第5次利根川水系および荒川水系水資源開発基本計画で記述されている「2/20の渇水年の安定供給可能量」に関連して、下記の事項につき、調査のうえご回答ください。

記

1. 安定供給可能量の計算を行った主体と時期について

(1) 計算を行った主体

「2/20の渇水年の安定供給可能量」を求める計算を行った主体は貴庁ということでしょうか。それともこの業務を外部に委託されていたのでしょうか。

(2) 計算を行った時期

上記計算を行った時期はいつになりますか。

2 安定供給可能量の計算の前提条件とその計算に用いたデータ

安定供給可能量を求めるには、一定の前提条件を設定した上、過去の実績値等のデータを用いることになると思われますが、その概要をご説明ください。なお、その際、次の数値・データを明らかにしてください。

(1) 利根川水系

① 各ダムの月別利水容量と運用条件

② ダム以外の各利水施設（北千葉導水路、霞ヶ浦開発、利根川河口堰）の運用条件

③ 本川および支川の各利水基準点の月別確保流量

④ ダムおよびダム以外の利水施設による取水地点ごとの用途別の月別開発水量

⑤ 既得水利権による取水地点ごとの用途別の月別取水量

⑥ 計算に用いた本川および支川の各地点の半旬ごとの流量データ（全計算期間20年間）

- ⑦ 各ダム地点から各利水基準点までの流下日数の設定値
- ⑧ ダムの開発水量を削減する場合、各利水基準点の確保流量の設定値および各
既得水利権の取水量の設定値 など

(2) 荒川水系

- ① 各ダムの月別利水容量と運用条件
- ② 本川および支川の各利水基準点の月別確保流量
- ③ ダムによる取水地点ごとの用途別の月別開発水量
- ④ 既得水利権による取水地点ごとの用途別の月別取水量
- ⑤ 計算に用いた本川および支川の各地点の半旬ごとの流量データ（全計算期間
20 年間）
- ⑥ 各ダム地点から各利水基準点までの流下日数の設定値
- ⑦ ダムの開発水量を削減する場合、各利水基準点の確保流量の設定値および各
既得水利権の取水量の設定値 など

3 安定供給可能量の計算結果

- (1) 利根川水系において供給量を開発水量の 100 %から段階的に削減した場合、
それぞれについて次の計算結果（全計算期間 20 年間のデータ）を明らかにし
てください。

- ① 各ダムの半旬別貯水量の計算結果
- ② ダム以外の各利水施設（北千葉導水路等）の運用結果（送水量等）
- ③ 本川および支川の各利水基準点の半旬別流量の計算結果

- (2) 荒川水系において供給量を開発水量の 100 %から段階的に削減した場合、
それぞれについて次の計算結果（全計算期間 20 年間のデータ）を明らかにし
てください。

- ① 各ダムの半旬別貯水量の計算結果
- ② 本川および支川の各利水基準点の半旬別流量の計算結果

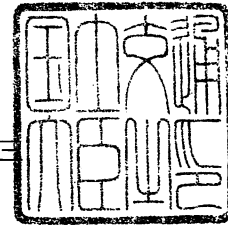


国広情第490号
平成20年1月22日

行政文書開示決定通知書

嶋津 暉之 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



平成19年12月22日付けで請求され、同年12月25日付けで受理した行政文書の開示について、行政機関の保有する情報の公開に関する法律第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり、開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する行政文書の名称

- ①利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（茨城県回答分）（平成19年10月30日付け水土第241号）
- ②利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（栃木県回答分）（平成19年6月12日付け総政第28号）
- ③利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（群馬県回答分）（平成19年10月26日付け土水第503-2号）
- ④利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査等について（埼玉県回答分）（平成19年10月23日付け土地水302号）
- ⑤利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（千葉県回答分）（平成19年3月28日付け水政第359号）
- ⑥利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（千葉県回答分）（平成19年9月28日付け水政第180号）
- ⑦利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査回答について（国土交通省から千葉県通知分）（平成19年12月5日分付け国水計第70号）
- ⑧利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（東京都回答分）（平成19年10月30日付け19都市政広第365号）
- ⑨利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査回答について（国土交通省から東京都通知分）（平成19年12月5日分付け国水計第70号）
- ⑩利根川・荒川水系における水資源開発基本計画施設実力調査について（回答）（国土交通省河川局回答分）（平成19年6月15日国河計調第21号）

（請求文書名：「資料2 次期利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画の需要想定」（各都県からの提出資料を含む）と「資料3-1 次期利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画の需給想定」の計算根拠を示す資料のすべて（安定供給可能量（近2/20）と戦後最大渇水時供給可能の計算根拠を含む））

2 不開示とした部分とその理由

なし

3 開示の実施の方法等

（1）開示の実施の方法等

行政文書の種類・数量等	開示の実施方法	開示実施手数料の額 （算定基準）	行政文書全体について開示の実施を受けた場合の基本額	開示実施手数料※
A 4判文書 222枚	閲覧	100枚までにつき 100円	300円	0円
	複写機により複写したものの交付	用紙1枚につき 10円	2220円	1920円

※ 開示実施手数料・・・「開示の実施方法等申出書」に貼付していただく収入印紙の額、行政文書全体について開示の実施を受けた場合の基本額－控除額 300円

(2) 事務所における開示を実施することができる日時、場所

この通知書を受け取った日から2ヶ月後(土・日曜日、祝祭日を除く。)までの 9:30 ~ 11:45、13:00 ~ 17:15 ※ご希望の日時を下記「担当課等」までご連絡ください。

場所：国土交通省大臣官房広報課情報公開窓口 東京都千代田区霞が関2-1-3

(3) 写しの送付を希望する場合の準備日数、郵送料(見込み額)

日数：「開示の実施方法等申出書」が提出された日から1週間後までに郵送予定

郵送料(見込み額)：ゆうパック 60 サイズ 500 円

* 担当課等 国土交通省大臣官房広報課情報公開室 TEL：03-5253-8111 内線 21-554

国河計調第21号

平成19年6月15日

国土交通省土地・水資源局

水資源部水資源計画課長 殿

国土交通省河川局

河川計画課長



利根川・荒川水系における水資源開発基本計画
施設実力調査について（回答）

平成15年9月12日国水計第24号において依頼のあった標記について、別添のとおり回答いたします。

利根川・荒川水系における水資源開発基本計画施設実力調査について

1. 検討にあたっての前提条件

<計算期間>

- 昭和 58 年度から平成 14 年度（20 年間）

<計算の前提条件>

- 利水計算は、各ダムをプール運用することとする。プール運用とは、各基準点に対して全施設を統合的に運用して、各取水地点において必要な水量を確保するものである。
- 対象施設※¹は下表のとおり

利根川水系	矢木沢ダム、奈良俣ダム、ハッ場ダム、下久保ダム、草木ダム、 思川開発（南摩ダム）、渡良瀬遊水池、川治ダム、湯西川ダム、 北千葉導水路、利根川河口堰、霞ヶ浦開発、霞ヶ浦導水、藤原ダム※ ² 相俣ダム※ ² 、蘭原ダム※ ² 、五十里ダム※ ² 、川俣ダム※ ² 、自流
荒川水系	二瀬ダム※ ² 、浦山ダム、合角ダム、有馬ダム、荒川第一調節池 滝沢ダム、自流

※¹ 補助ダムについては本川で開発する計画となっているもののみを計算の対象としている。

※² 不特定かんがい用水のみの補給を行うダム

- 年間を通じて供給（取水）可能かどうかの判断は、ダム・堰は貯水容量がなくなった時、流況調整河川は基準地点下流の必要流量が流下できない時、を供給（取水）できないと判断し、それ以外であれば供給（取水）可能と判断する。
- 渇水対策容量は計算の対象としない。

<留意点>

- 現実の対応として、渇水調整が行われるが、今回の計算では考慮していない。
- 開発水量について、利根川水系は平成 18 年 3 月時点、荒川水系は平成 19 年 3 月時点の数値である（いずれも河川整備基本方針策定時点）。

2. 計画供給総量に対する不足量 利根川・荒川水系

（百万m³）

水系名	計画供給総量			利水安全度（2／20）				戦後最大渇水	
	都市用水	上水	工水	不足総量	不足日数	該当期間		不足総量	不足日数
						(年/月 ～ 年/月)			
利根川	4,624.8	3,653.8	971.0	463.6	約 70 日	S62.6, 8, S63/2	～ S63/3	631.1	約 105 日
荒 川	438.3	438.4	0.0	112.9	約 130 日	S62/4	～ S62/8	134.6	約 115 日
合 計	5,063.1	4,092.1	971.0	582.7	—	—	～ —	—	—

注)・「利水安全度 2/20」は、利根川・荒川水系の 2/20 に相当する昭和 62 年度を想定して計算している

- ・戦後最大渇水は利根川水系は昭和 48 年、荒川水系は平成 8 年
- ・計画供給総量：開発水量 (m³/s) × 60 秒 × 60 分 × 24 時間 × 365 日
- ・不足量総量、日数：ダム・堰に貯留した利水容量がなくなり、かつ、自流が不足する状況下において該当期間のうち必要量に対して取水できない日を不足日数、また取水できない水量を不足総量とした。
- ・不足総量には不特定に対する不足を含む

3. 供給可能水量 利根川・荒川水系

(m³/s)

施設名	開発水量 (計画値)			安定供給可能量 (4/20)			安定供給可能量 (2/20)		
	都市用水	上水	工業用水	都市用水	上水	工業用水	都市用水	上水	工業用水
利根川水系	145.45	114.87	30.58	128.08	99.89	28.19	124.68	96.96	27.72
荒川水系	13.90	13.90	—	12.32	12.32	—	9.98	9.98	—
自流	14.96	11.55	3.41	12.35	9.54	2.80	11.70	9.01	2.68
合計	174.31	140.32	33.99	152.74	121.75	30.99	146.35	115.95	30.40

施設名	安定供給可能量 (1/20)			戦後最大渇水時供給可能量		
	都市用水	上水	工業用水	都市用水	上水	工業用水
利根川水系	118.90	91.93	26.97	110.23	85.44	24.80
荒川水系	9.69	9.69	—	9.69	9.69	—
自流	11.58	8.92	2.66	9.81	7.58	2.23
合計	140.17	110.54	29.63	129.73	102.71	27.03

注)・「安定供給可能量 (4/20)」は、近年 20 年間で 4 番目の規模の渇水年で、利根川水系では平成 6 年、荒川水系は昭和 60 年を想定して計算している。

・同様に「安定供給可能量 (2/20)」は、2 番目の規模の渇水年で、利根川・荒川水系の昭和 62 年を想定して計算している。

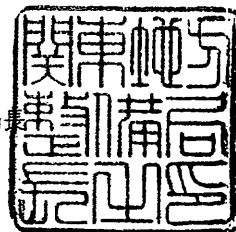
・同様に「安定供給可能量 (1/20)」は、1 番目の規模の渇水年で、利根川水系では昭和 59 年、荒川水系は平成 8 年を想定して計算している。

・合計の値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

行政文書開示決定通知書

嶋 津 暉 之 様

関東地方整備局長



平成20年6月13日付けで請求され、平成20年7月4日付けで受理しました行政文書の開示について、行政機関の保有する情報の公開に関する法律第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり、開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する行政文書の名称

利根川・荒川水系における水資源開発基本計画施設実力調査関係資料

2 不開示とした部分とその理由

なし

* この決定に不服がある場合は、行政不服審査法（昭和37年法律第160号）第5条の規定により、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、国土交通大臣に対して審査請求をすることができます。

* また、この決定の取消を求める訴訟を提起する場合は、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）の規定により、この決定があったことを知った日から6ヶ月以内に、国を被告として（訴訟において国を代表とする者は法務大臣となります。）処分の取消しの訴えを提起することができます。（なお、決定があったことを知った日から6ヶ月以内であっても、決定の日から1年を経過した場合には処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）

3 開示の実施の方法等

(1) 開示の実施の方法等

* 同封の説明事項をお読みください。

開示請求書において希望された開示の実施の方法等により、開示の実施を受けられます。

（実施の方法） 写しの交付

なお、下表に記載した方法のうち開示請求書において希望された開示の実施方法と異なる方法、(2)に記載された日時によることもできます。

行政文書の種類・数量等	開示の実施の方法	開示実施手数料の額 (算定基準)	行政文書全体について開示の実施を受けた場合の基本額	開示実施手数料※
A4判（白黒）文書 3枚 A4判（カラー）文書 2枚	①閲覧	100枚ごとにつき100円	100円	0円
	②複写機により複写したものの交付（白黒）	用紙1枚につき10円 5枚×10円	50円	0円
	③複写機により複写したものの交付（カラー）	用紙1枚（白黒）につき10円 用紙1枚（カラー）につき20円 3枚×10円（白黒） 2枚×20円（カラー）	70円	0円
	④スキャナで電子化したCD-Rに複写したものの交付	CD-R1枚につき100円に文書・図面1枚ごとに10円を加えた額	150円	0円

※開示実施手数料…「開示の実施方法等申出書」に貼付する収入印紙の額
(行政文書全体について開示の実施を受けた場合の基本額 - 控除額300円)

(2) 開示を実施することができる日時、場所

「開示の実施方法等申出書」が提出された日の3日後から2ヶ月後まで（土・日・祝祭日を除く）
の9:30から11:45、13:00から17:15まで
場所：関東地方整備局情報公開室

(3) 写しの送付を希望する場合の準備日数、郵送料（見込み額）

日数：「開示の実施方法等申出書」が提出された日から1週間後までに発送予定
郵送料（見込み額）：120円（紙媒体の場合）、140円（CD-Rの場合）

* 関東地方整備局情報公開室

〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL 048-601-3151 内線2024

* 担当課等

関東地方整備局河川部河川計画課流域治水係

TEL 048-601-3151 内線3644

※開示の実施方法等の申し出は、この通知を受けた日から30日以内に行ってください。

利根川水系不足量【1987年度（昭和62年度）】

年度	月	半旬	栗橋上流ダム群		河口堰上流ダム群		栗橋上流ダム 不足量発生 半旬
			貯水量	不足量	貯水量	不足量	
1987	4	1	333,351	0	568,919	0	
1987	4	2	380,456	0	613,976	0	
1987	4	3	402,370	0	637,352	0	
1987	4	4	413,662	0	629,814	0	
1987	4	5	434,709	0	619,601	0	
1987	4	6	397,428	0	561,976	0	
1987	5	1	361,468	0	503,078	0	
1987	5	2	295,972	0	418,656	0	
1987	5	3	280,579	0	391,927	0	
1987	5	4	267,770	0	367,882	0	
1987	5	5	271,386	0	364,430	0	
1987	5	6	228,888	0	300,750	0	
1987	6	1	163,388	0	213,002	0	
1987	6	2	94,881	0	126,943	0	
1987	6	3	19,852	0	28,823	0	
1987	6	4	0	-35,855	0	-42,805	○
1987	6	5	0	-64,496	5,000	-71,447	○
1987	6	6	0	-135,798	0	-153,112	○
1987	7	1	1,231	0	6,231	0	
1987	7	2	15,670	-5,389	20,670	-5,389	
1987	7	3	10,568	0	15,568	0	
1987	7	4	38,476	0	43,476	0	
1987	7	5	40,916	0	45,916	0	
1987	7	6	37,900	0	42,900	0	
1987	8	1	15,419	0	20,419	0	
1987	8	2	0	-23,558	3,574	-24,502	○
1987	8	3	18,006	0	24,764	0	
1987	8	4	33,761	0	43,327	0	
1987	8	5	39,991	-3,465	47,755	-3,465	
1987	8	6	48,575	-8,073	53,575	-8,073	
1987	9	1	55,397	-12,112	64,444	-12,112	
1987	9	2	73,273	0	115,995	0	
1987	9	3	94,193	0	145,500	0	
1987	9	4	90,288	0	143,167	0	
1987	9	5	92,842	-6,205	148,593	-6,205	
1987	9	6	98,307	-7,790	157,539	-7,790	
1987	10	1	112,291	-9,825	174,093	-9,825	
1987	10	2	124,681	-11,985	187,736	-11,985	
1987	10	3	126,357	-14,395	191,589	-14,395	
1987	10	4	142,047	0	219,008	0	
1987	10	5	147,702	0	230,007	0	
1987	10	6	152,460	-1,772	238,010	-1,772	
1987	11	1	156,063	-3,967	238,399	-3,967	
1987	11	2	160,552	0	239,038	0	
1987	11	3	162,798	-618	237,436	-618	
1987	11	4	163,611	-2,786	236,516	-2,786	
1987	11	5	163,857	-3,266	233,963	-3,266	
1987	11	6	161,093	-5,560	227,950	-5,560	
1987	12	1	153,585	-7,642	217,029	-7,642	
1987	12	2	146,115	-9,724	206,747	-9,724	
1987	12	3	144,124	-11,807	202,799	-11,807	
1987	12	4	139,285	-13,889	195,114	-13,889	
1987	12	5	129,747	-15,971	183,039	-15,971	
1987	12	6	119,830	-17,905	170,447	-17,905	
1987	1	1	100,614	-19,987	152,070	-19,987	
1987	1	2	88,864	-22,069	140,834	-22,069	
1987	1	3	71,212	-24,151	123,579	-24,151	
1987	1	4	51,604	-26,234	104,118	-26,234	
1987	1	5	40,506	-27,404	94,597	-27,404	
1987	1	6	17,406	-29,903	72,730	-29,903	
1987	2	1	0	-35,043	55,607	-35,043	○
1987	2	2	0	-55,196	53,365	-55,196	○
1987	2	3	0	-78,330	49,150	-78,330	○
1987	2	4	0	-99,022	39,080	-99,022	○
1987	2	5	0	-127,785	34,187	-127,785	○
1987	2	6	0	-153,812	29,917	-153,812	○
1987	3	1	0	-181,512	26,382	-181,512	○
1987	3	2	0	-210,655	12,305	-210,655	○
1987	3	3	0	-231,209	7,071	-231,209	○
1987	3	4	0	-250,131	5,133	-250,131	○
1987	3	5	3,612	0	18,168	0	
1987	3	6	6,385	0	25,099	0	
-463,608							14

※各上流ダム群の不足量はその下流端基準点より上流の基準点の不足量の合計値。

※不足が連続する場合、不足量の累積値を表示。

※不足日数は栗橋上流ダム群を基準に算出。

利根川水系不足量【1973年度（昭和48年度）】

年度	月	半旬	栗橋上流ダム群		河口堰上流ダム群		栗橋上流ダム 貯水量“0” 半旬
			貯水量	不足量	貯水量	不足量	
1973	4	1	22,222	0	179,566	0	
1973	4	2	54,527	0	214,489	0	
1973	4	3	141,001	0	301,244	0	
1973	4	4	217,434	0	384,918	0	
1973	4	5	298,167	0	460,946	0	
1973	4	6	351,936	0	506,662	0	
1973	5	1	375,303	0	519,415	0	
1973	5	2	399,650	0	539,576	0	
1973	5	3	417,159	0	538,116	0	
1973	5	4	410,472	0	515,821	0	
1973	5	5	378,862	0	462,266	0	
1973	5	6	389,935	0	463,178	0	
1973	6	1	378,893	0	442,995	0	
1973	6	2	413,969	0	484,550	0	
1973	6	3	417,179	0	482,999	0	
1973	6	4	399,403	0	461,388	0	
1973	6	5	354,300	0	412,340	0	
1973	6	6	306,955	0	366,857	0	
1973	7	1	311,758	0	368,123	0	
1973	7	2	306,790	0	346,264	0	
1973	7	3	281,557	0	307,297	0	
1973	7	4	217,250	0	221,355	0	
1973	7	5	205,128	0	206,953	0	
1973	7	6	136,035	0	136,035	0	
1973	8	1	91,462	0	91,462	0	
1973	8	2	39,436	0	39,436	0	
1973	8	3	0	-37,011	0	-48,136	○
1973	8	4	0	-105,975	0	-134,326	○
1973	8	5	0	-154,459	0	-186,859	○
1973	8	6	0	-166,724	589	-199,124	○
1973	9	1	0	-199,755	5,575	-232,155	○
1973	9	2	9,076	-206,658	15,593	-239,059	
1973	9	3	12,744	-211,211	20,254	-243,612	
1973	9	4	13,129	-227,053	21,710	-259,453	
1973	9	5	15,354	-240,419	24,592	-272,819	
1973	9	6	17,574	-244,592	27,326	-276,992	
1973	10	1	29,039	-249,733	39,824	-282,133	
1973	10	2	40,915	-251,893	53,363	-284,293	
1973	10	3	51,663	0	66,504	0	
1973	10	4	54,705	-419	70,608	-419	
1973	10	5	56,761	-2,830	73,520	-2,830	
1973	10	6	77,435	0	95,796	0	
1973	11	1	83,055	0	102,168	0	
1973	11	2	89,237	0	112,048	0	
1973	11	3	95,592	0	121,232	0	
1973	11	4	97,104	-2,294	123,867	-2,294	
1973	11	5	97,652	-4,501	125,530	-4,501	
1973	11	6	96,309	-6,795	125,189	-6,795	
1973	12	1	91,138	-8,878	121,193	-8,878	
1973	12	2	83,448	-10,960	114,363	-10,960	
1973	12	3	71,763	-13,042	103,360	-13,042	
1973	12	4	59,934	-15,124	92,262	-15,124	
1973	12	5	45,989	-17,207	78,866	-17,207	
1973	12	6	23,481	-19,705	56,310	-19,705	
1973	1	1	401	-24,296	33,991	-24,296	
1973	1	2	0	-50,211	29,889	-50,211	○
1973	1	3	0	-74,649	28,998	-74,649	○
1973	1	4	0	-101,304	25,422	-101,304	○
1973	1	5	0	-125,733	24,159	-125,733	○
1973	1	6	0	-156,464	19,203	-156,464	○
1973	2	1	0	-184,285	15,243	-184,285	○
1973	2	2	0	-205,885	15,459	-205,885	○
1973	2	3	0	-232,323	14,358	-232,323	○
1973	2	4	0	-254,770	12,731	-254,770	○
1973	2	5	0	-269,964	13,249	-269,964	○
1973	2	6	0	-280,469	13,148	-280,469	○
1973	3	1	0	-298,946	12,092	-298,946	○
1973	3	2	2,311	0	17,989	0	
1973	3	3	0	-5,448	17,484	-5,448	○
1973	3	4	0	-17,124	14,229	-17,124	○
1973	3	5	0	-36,707	8,468	-36,707	○
1973	3	6	0	-45,048	8,290	-45,048	○
						-631,117	21

※各上流ダム群の不足量はその下流端基準点より上流の基準点の不足量の合計値。

※不足が連続する場合、不足量の累積値を表示。

※不足日数は栗橋上流ダム群を基準に算出。

荒川不足量【1987年（S62年）】

年	月	半旬	寄居上流ダム群		古谷本郷上流ダム群		古谷本郷上流ダム 不足量発生 半旬
			貯水量	不足量	貯水量	不足量	
1987	1	1	55,317		58,118		
1987	1	2	51,790		54,410		
1987	1	3	48,222		50,663		
1987	1	4	44,405		46,652		
1987	1	5	40,246		42,284		
1987	1	6	35,010		36,781		
1987	2	1	31,034		32,604		
1987	2	2	27,255		28,635		
1987	2	3	23,991		25,205		
1987	2	4	19,966		20,976		
1987	2	5	16,318		17,143		
1987	2	6	13,962		14,669		
1987	3	1	9,274		9,743		
1987	3	2	4,966		5,218		
1987	3	3	1,969		2,068		
1987	3	4	0		0	-1,266	○
1987	3	5	1,795		1,886		
1987	3	6	0		0	-1,211	○
1987	4	1	0	-1,037	0	-5,940	○
1987	4	2	0	-2,251	0	-10,824	○
1987	4	3	0	-2,323	0	-14,766	○
1987	4	4	0		0	-18,410	○
1987	4	5	0	-172	0	-21,966	○
1987	4	6	0	-485	0	-25,672	○
1987	5	1	0	-589	0	-29,247	○
1987	5	2	0	-1,254	0	-34,264	○
1987	5	3	0		0	-37,465	○
1987	5	4	0		0	-39,253	○
1987	5	5	0		0	-39,684	○
1987	5	6	0		0	-43,288	○
1987	6	1	0		0	-46,914	○
1987	6	2	0	-846	0	-51,750	○
1987	6	3	0	-1,403	0	-56,460	○
1987	6	4	0	-3,204	0	-61,888	○
1987	6	5	0	-4,826	0	-66,463	○
1987	6	6	0	-10,168	0	-75,135	○
1987	7	1	0	-12,884	0	-79,010	○
1987	7	2	0		0	-79,497	○
1987	7	3	0	-2,765	0	-85,038	○
1987	7	4	1,771		6,091		
1987	7	5	824		4,118		
1987	7	6	0	-4,246	776	-4,246	○
1987	8	1	0	-9,635	0	-11,264	○
1987	8	2	0	-14,717	0	-20,646	○
1987	8	3	0	-16,288	0	-26,565	○
1987	8	4	1,693		4,729		
1987	8	5	2,538		5,520		
1987	8	6	35		37		
1987	9	1	777		3,099		
1987	9	2	6,234		14,112		
1987	9	3	15,747		26,161		
1987	9	4	25,466		35,917		
1987	9	5	33,235		43,685		
1987	9	6	42,327		52,776		
1987	10	1	46,127		59,505		
1987	10	2	48,420		62,026		
1987	10	3	49,937		63,221		
1987	10	4	53,665		67,751		
1987	10	5	55,592		69,887		
1987	10	6	57,473		71,974		
1987	11	1	59,666		74,383		
1987	11	2	62,140		77,055		
1987	11	3	63,524		78,596		
1987	11	4	64,672		78,744		
1987	11	5	65,482		76,701		
1987	11	6	66,147		75,127		
1987	12	1	66,606		72,063		
1987	12	2	65,944		69,928		
1987	12	3	66,244		70,327		
1987	12	4	65,504		68,911		
1987	12	5	62,904		66,087		
1987	12	6	59,078		62,067		
					-112,869	26	

※各上流ダム群の不足量はその下流端基準点より上流の基準点の不足量の合計値。

※不足が連続する場合、不足量の累積値を表示。

※不足日数は古谷本郷上流ダム群を基準に算出。

荒川不足量【1996年（H8年）】

年	月	半旬		寄居上流ダム群		古谷本郷上流ダム群		古谷本郷上流ダム 不足量発生 半旬
				貯水量	不足量			
1996	1	1	5	50,706		50,795		
1996	1	2	5	45,513		45,513		
1996	1	3	5	39,989		39,990		
1996	1	4	5	34,393		34,468		
1996	1	5	5	28,684		28,684		
1996	1	6	6	21,700		21,699		
1996	2	1	5	15,656		15,656		
1996	2	2	5	9,613		9,613		
1996	2	3	5	3,492		3,492		
1996	2	4	5	0		0	-2,468	○
1996	2	5	5	0	-2.14	0	-8,684	○
1996	2	6	4	0		0	-12,851	○
1996	3	1	5	0	-0.82	0	-18,480	○
1996	3	2	5	0	-2.41	0	-24,450	○
1996	3	3	5	0	-3.99	0	-30,427	○
1996	3	4	5	0		0	-34,388	○
1996	3	5	5	0	-1.13	0	-39,477	○
1996	3	6	6	0		0	-42,967	○
1996	4	1	5	0		0	-44,484	○
1996	4	2	5	0	-1.93	0	-47,835	○
1996	4	3	5	0	-4.98	0	-52,039	○
1996	4	4	5	1,194		4,333		
1996	4	5	5	1,556		2,208		
1996	4	6	5	0		0	-813	○
1996	5	1	5	0		0	-825	○
1996	5	2	5	1,874		4,999		
1996	5	3	5	3,115		5,475		
1996	5	4	5	3,739		3,837		
1996	5	5	5	2,183		2,183		
1996	5	6	6	0		0	-2,142	○
1996	6	1	5	0	-1.97	0	-6,579	○
1996	6	2	5	0	-7.58	0	-12,336	○
1996	6	3	5	0	-12.70	0	-16,641	○
1996	6	4	5	0	-20.75	0	-22,360	○
1996	6	5	5	0	-33.06	0	-30,962	○
1996	6	6	5	0	-41.14	0	-36,566	○
1996	7	1	5	0	-54.43	0	-46,372	○
1996	7	2	5	2,431		6,771		
1996	7	3	5	4,800		12,400		
1996	7	4	5	7,094		14,954		
1996	7	5	5	17,269		25,779		
1996	7	6	6	20,193		25,593		
1996	8	1	5	19,780		22,102		
1996	8	2	5	14,457		14,967		
1996	8	3	5	6,498		6,567		
1996	8	4	5	0		0	-899	○
1996	8	5	5	0	-10.18	0	-10,186	○
1996	8	6	6	0	-18.22	0	-20,086	○
1996	9	1	5	0	-28.11	0	-29,055	○
1996	9	2	5	0	-34.42	0	-35,322	○
1996	9	3	5	6,539		11,144		
1996	9	4	5	10,127		13,447		
1996	9	5	5	32,598		41,840		
1996	9	6	5	37,305		47,256		
1996	10	1	5	42,695		55,648		
1996	10	2	5	51,026		64,321		
1996	10	3	5	56,740		70,337		
1996	10	4	5	59,757		73,587		
1996	10	5	5	61,203		75,210		
1996	10	6	6	62,507		76,690		
1996	11	1	5	64,186		78,546		
1996	11	2	5	65,468		79,953		
1996	11	3	5	66,589		81,217		
1996	11	4	5	67,352		80,794		
1996	11	5	5	68,067		80,341		
1996	11	6	5	68,493		78,728		
1996	12	1	5	68,858		76,680		
1996	12	2	5	69,397		74,700		
1996	12	3	5	67,042		71,893		
1996	12	4	5	65,760		69,648		
1996	12	5	5	63,273		66,474		
1996	12	6	6	59,465		62,475		
							-134,558	27

※各上流ダム群の不足量はその下流端基準点より上流の基準点の不足量の合計値。

※不足が連続する場合、不足量の累積値を表示。

※不足日数は古谷本郷上流ダム群を基準に算出。

利根川・荒川水系 供給可能量

施設名	開発水量（計画値）			安定供給可能量（4/20）			安定供給可能量（2/20）			安定供給可能量（1/20）			戦後最大渇水時供給可能量		
	都市用水	上水	工水	都市用水	上水	工水	都市用水	上水	工水	都市用水	上水	工水	都市用水	上水	工水
利根川水系	145.45	114.87	30.58	128.07	99.89	28.19	124.68	96.96	27.72	118.90	91.93	26.97	110.89	85.44	25.45
矢木沢ダム	6.75	6.75		5.54	5.54		5.30	5.30		5.25	5.25		4.40	4.40	
下久保ダム	16.00	14.90	1.10	13.14	12.23	0.90	12.58	11.71	0.87	12.46	11.61	0.86	10.45	9.73	0.72
印旛沼開発	5.00		5.00	4.11		4.11	3.93		3.93	3.90		3.90	3.27		3.27
利根河口堰	20.00	18.76	1.24	20.00	18.76	1.24	20.00	18.76	1.24	15.58	14.61	0.97	20.00	18.76	1.24
草木ダム	8.92	7.04	1.88	7.32	5.78	1.54	7.01	5.53	1.48	6.95	5.48	1.46	5.83	4.60	1.23
川治ダム	7.12	3.98	3.14	5.85	3.27	2.58	5.60	3.13	2.47	5.55	3.10	2.45	4.65	2.60	2.05
霞ヶ浦開発	23.36	7.79	15.57	23.36	7.79	15.57	23.36	7.79	15.57	22.80	7.60	15.20	22.64	7.55	15.09
房総導水路	1.80	1.80		1.48	1.48		1.42	1.42		1.40	1.40		1.18	1.18	
奈良俣ダム	6.21	6.21		5.10	5.10		4.88	4.88		4.84	4.84		4.06	4.06	
北千葉導水路	10.00	9.41	0.59	8.21	7.73	0.48	7.86	7.40	0.46	7.79	7.33	0.46	6.54	6.15	0.39
渡良瀬遊水池	2.50	2.50		2.05	2.05		1.97	1.97		1.95	1.95		1.63	1.63	
その他事業（補助）	3.38	3.38		2.78	2.78		2.66	2.66		2.64	2.64		2.21	2.21	
既存水利の有効活用	15.79	14.79	1.00	12.96	12.14	0.82	12.41	11.63	0.79	12.30	11.52	0.78	10.31	9.66	0.65
思川開発	1.82	1.82		1.50	1.50		1.43	1.43		1.42	1.42		1.19	1.19	
ハッ場ダム	9.58	9.11	0.47	7.87	7.48	0.39	7.53	7.16	0.37	7.46	7.10	0.37	6.26	5.95	0.31
霞ヶ浦導水	5.00	4.60	0.40	5.00	4.60	0.40	5.00	4.60	0.40	4.88	4.49	0.39	4.85	4.46	0.39
湯西川ダム	2.22	2.03	0.19	1.82	1.67	0.16	1.74	1.59	0.15	1.73	1.58	0.15	1.44	1.32	0.12
荒川水系	13.90	13.90		12.32	12.32		9.98	9.98		9.69	9.69		9.69	9.69	
浦山ダム	4.10	4.10		3.63	3.63		2.94	2.94		2.86	2.86		2.86	2.86	
荒川調節池	3.50	3.50		3.10	3.10		2.51	2.51		2.44	2.44		2.44	2.44	
滝沢ダム	4.60	4.60		4.08	4.08		3.30	3.30		3.21	3.21		3.21	3.21	
有馬ダム（補助）	0.70	0.70		0.62	0.62		0.50	0.50		0.48	0.48		0.49	0.49	
合角ダム（補助）	1.00	1.00		0.89	0.89		0.72	0.72		0.70	0.70		0.70	0.70	
自 流	14.96	11.55	3.41	12.35	9.54	2.80	11.70	9.01	2.68	11.58	8.92	2.66	9.81	7.58	2.23
合 計	174.31	140.32	33.99	152.74	121.75	30.99	146.35	115.95	30.40	140.17	110.54	29.63	130.39	102.71	27.68